

人長の舞（其駒）

神楽は神意を慰めるために起こった楽で、その源流は上古にさかのぼります。

この人長の舞（にんじょうのまい）は、平安中期以来のもので、神楽歌を中心として笏拍子、和琴、神楽笛、篳りきの伴奏とともに舞われる古式ゆかしい舞です。

神楽人の長（宮中楽部の楽長）が舞うので、「人長の舞」といいます。

人長の舞 装束之図



其駒ぞや我に我に草乞ふ 草は取り
飼はん 水は取り 草は取り飼はん